

1. 多摩ニュータウンの現状

- 居住人口と従業人口は、計画人口を目指して着実に増加
- 人口構成の偏りにより、生産年齢人口が減少し、高齢化が進展
- 公共交通サービスや道路インフラは充実
- 多摩センターに商業、業務、余暇に関連した施設が集積
- 教育施設や医療施設は、周辺地域も含めて数多く立地
- 多摩直下地震や立川断層帯地震にも比較的強い

2. 多摩ニュータウンが直面している課題

- 人口の年齢構成の偏りの解消
- 高齢者の生活利便性の向上
- 子育て世代の生活利便性の向上
- 日常生活サービスの利便性の向上
- 都市づくりと一体となった団地の再生
- 業務機能のさらなる立地促進
- 大規模な公共空間の適切な維持管理

3. 2040年代に想定する社会変化の見込み

- リニア開業による機能立地ポテンシャルの向上
- 圏央道開通に伴う効果
- 交通政策審議会答申を踏まえた鉄道整備の進展
- 南多摩尾根幹線道路整備（4車線化）の影響

東京都都市計画審議会の「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について答申」を踏まえて、多摩ニュータウン地域全体のまちのあり方について次回の委員会にて検討予定。